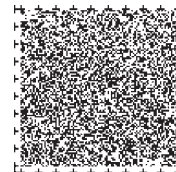


平成28年度発達障害臨床セミナーへのお誘い

発達障害情報・支援センター



発達障害の研究分野で世界的に著名なクリストファー・ギルバーク博士をお迎えして、11月6日（日）の午後にセミナーを開催することとなりました。今回は医療・福祉・教育の各分野で発達障害者の支援業務に従事されている方が対象となります。会場はJR品川駅前の「コクヨ

ホール」で開催します。定員は300名ですが、先着順となっておりますので早めにお申し込みいただきますようお願い申し上げます。是非お誘い合わせの上ふってご参加ください。ご来場をお待ちしております。

医療・福祉従事者のための 発達障害臨床セミナー

日時 2016年11月6日（日）
12:40～17:20（受付開始 11:40）

会場 KOKUYO HALL (コクヨホール)
東京都港区南1丁目8番地35号
JR品川駅南口(東口)より徒歩5分



参加費 1,000円(資料代として：当日受付にて現金徴収)
通 訊 あり
定 員 300名(先着順)
(発達障害支援の分野で、医療・福祉関係業務に従事している方、及び教育関係者向けの講演になります)

12:40～ 開講式

13:00～15:00 基調講演

第1部

「ESSENCEの概要と成人期支援」

講師：クリストファー・ギルバーク教授（イエーテボリ大学）

クリストファー・ギルバーク(Christopher Gillberg)教授
1950年生まれ。児童精神医学分野の教授として研究・教育に従事。自閉症、アスペルガー症候群、ADHD、LD、トゥレット症候群、摂食障害のほか、児童・青年期の精神医学、神経発達の領域に関連する数多くの論文で研究報告をしており、これらの論文は、ICD（疾病及び関連保健問題の国際統計分類）やDSM（精神障害の診断と統計の手引）などの国際疾病分類にも影響を与えている。これまでの研究の成果により数々の名誉ある賞を受賞。現在、GNC（Gillberg Neuropsychiatry Centre, Sweden）をはじめ、他の機関においても、多くの研究者のスーパーバイズを行う。



15:15～17:15 パネルディスカッション

第2部

「発達障害者支援法改正に鑑みる成人期支援の課題と展望」

【コーディネーター】 深津玲子（発達障害情報・支援センターセンター長）
【パネリスト】 日詰正文（厚生労働省 障害福祉課 発達障害対策専門官）
市川宏伸（日本発達障害ネットワーク 理事長）
岡田祐輔（発達障害者支援センター全国連絡協議会 会長）
笹森洋樹（発達障害教育情報センターセンター長）
【コメンテーター】 クリストファー・ギルバーク教授（イエーテボリ大学）

17:15～17:20 閉講式

【申し込み】

別紙参加申込書(発達障害情報・支援センターホームページよりダウンロードできます)に必要事項をご記入のうえ、FAXまたはメールでお送りください。メールの場合は件名を「発達障害臨床セミナー参加申込」とし、必ず申込書を添付してください。

応募締切 平成28年10月6日(木)

* 入場には事前申込が必要です。
* ご参加いただける方へは別途ご連絡を差し上げます。

【お問い合わせ】

国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部
発達障害情報・支援センター 林・小野寺
TEL: 04-2995-3100 (内線2591, 2590)
FAX: 04-2995-3137 Mail: ML-hattatu-seminar@rehab.go.jp

主催：国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センター、厚生労働省
後援：文部科学省、発達障害者支援センター全国連絡協議会、日本発達障害ネットワーク

